

## ワールドカフェについての説明

国立長寿医療研究センター  
在宅連携医療部  
国井 由生子



## 今年度は個人の「活動」に焦点

### ワークショップのテーマ

「在宅医療連携体制構築における各職種の役割と活動  
～地域包括ケアの実現に向けて～」

### 今回のねらい

- 平成30年度までに義務化される在宅医療・介護連携推進事業にかかわる具体的な活動のイメージを持つ
- 連携体制構築に向けた活動に踏み出すきっかけを得る
- 同じ地域で活動する人々の交流、顔の見える関係づくり
- 研修手法の一つである「ワールドカフェ」の体験
- ポジティブアプローチによる強みや未来像の共有

## グループワーク手法のひとつである 「ワールドカフェ」

- 「カフェ」のようなリラックスした雰囲気の中で自由に明るく本音を前向きに話すことで活き活きとした意見交換や新たな発想が可能になる…という考え方に基づく話し合いの手法
- 結論を出すことを目的としない



### ワールドカフェの 基本的な実施方法

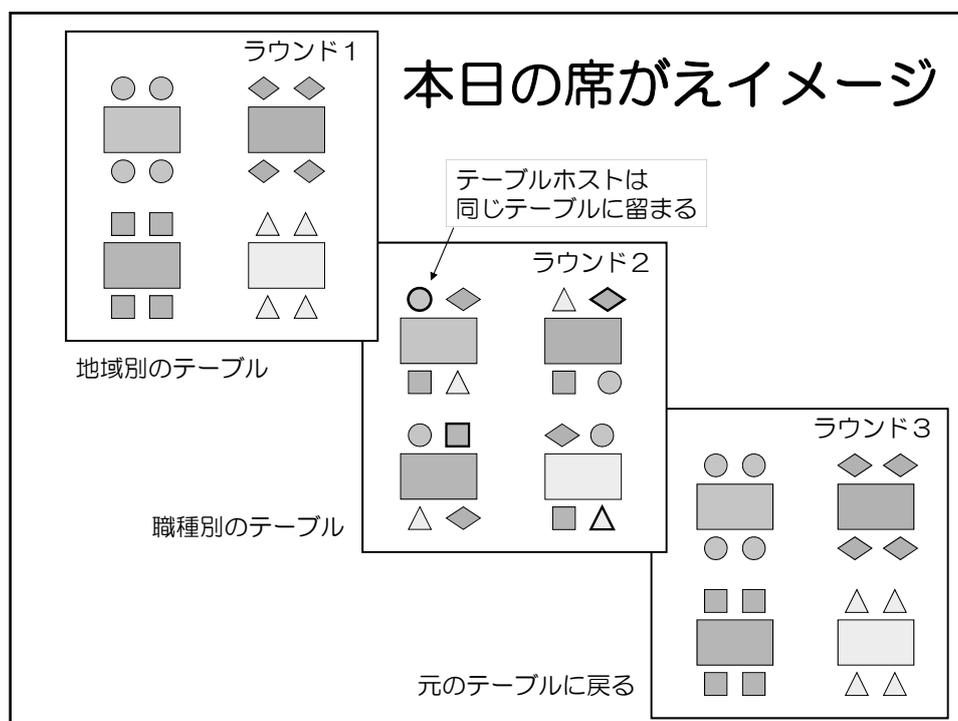
- カフェスタイルのテーブルに小人数で座る（今回は4～6名）
- テーマを設定し、20～30分程度の会話を複数ラウンド実施する
- 上記ラウンド毎に席がえを行い、異なるメンバーで会話をする（各テーブル1人だけは席を移動しない…「テーブルホスト」）
- 会話しながら模造紙に自由に書き込む

## ワールドカフェの仕掛け 「他花受粉」



花から花へと動いて花粉を拡散し  
遺伝子が混ざり合うことで新しい種をつくる  
ミツバチの「他花受粉」のように

ワールドカフェでは、席がえにより  
各テーブルで話されたアイディアが拡散し  
交わり、新たな発想が生まれる



## 今回はラウンド毎に テーマ・グループを設定

### ① 地域課題はどのようにして 把握できるか

(活動地域別のグループで実施)

市町村が主体となって行う連携推進事業では、  
様々な協力を得ながら課題の抽出をし、その解決  
に向けた活動に地域で取り組むことになる。

どのような材料から／どのようにすれば、  
適切な課題を導けるか。

### 今回はラウンド毎にテーマ・グループを設定(2)

### ② 自分／自分の職種が できることは何か、 他の職種に期待することは何か

(職種別のグループで実施)

自分/自職種の強み・役割を再確認し、  
問題解決型というより将来像を考えながら  
ポジティブに他職種へ期待することを話し合う。

今回はラウンド毎にテーマ・グループを設定(3)

### ③ 在宅医療連携体制構築に向けて どんな活動が考えられるか

(①のグループに戻る)

体制を作るための活動は研修に限らない。  
どんな活動が考えられるか。

各自がとりかかれることはなにか。

## グラウンドルール

### 1. 発言する

全員参加型です。思い切って発言してください。

### 2. 発言はコンパクトに

何度発言しても結構ですが、  
一人で長く話しすぎないようにしてください。

### 3. 相手の話も聞く

頭から否定・非難したり、さえぎったり  
しないでください。

### 4. 対等な立場で

話し合いのときは立場の上下なく、  
全ての参加者は対等です。

## 今回の進め方

### <ラウンド1>

25分

- ①自己紹介しながら  
アイスブレイク  
(活動地域のお店紹介)
- ②話し合い
- ③まとめ (赤でかこむ)
- ④席がえ

### <ラウンド3>

22分

- ①前ラウンドの振り返り  
(テーブルホストが説明)
- ②話し合い
- ③まとめ  
(オレンジでかこむ)

### <ラウンド2>

25分

- ①前ラウンドの振り返り  
(テーブルホストが説明)
- ②自己紹介
- ③話し合い
- ④まとめ (水色でかこむ)
- ⑤席がえ

### <ラウンド終了後>

- 全体まとめ  
テーブル巡回

